

「博物館情報メディア論」におけるアクティブラーニング利用の学習効果について

中田 美喜子

国際教養学部国際教養学科
広島女学院大学

Email: nakata@gaines.hju.ac.jp

はじめに

- 情報化社会の進化
 - 情報技術や情報スキル、情報リテラシ必要
- 文部科学省
 - 様々な資格・課程の指導内容に情報技術や情報スキル、情報リテラシを含める
- 学芸員
 - これまでの博物館は、標本、模型、文献等の資料が中心であった
 - 情報技術の進展により、デジタル写真・映像や、ハイビジョン映像等資料の記録媒体が多様化していることを反映する必要がある
 - 展示において
 - 「効果的な照明や音声、画像を含めた情報機器の活用等を含めた展示方法の工夫により、その効果を上げることを明記する。」
 - 「事業の内容、資料等についてインターネットその他の高度情報通信ネットワークの活用等の方法により、情報の提供を行うこと。」
 - 平成24年度より数科目が新設

博物館情報メディア論

科目のねらい	博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を養う。	
内容	博物館における情報メディアの意義	情報の意義(視聴覚メディアの理論と歴史を含む)
		メディアとしての博物館(視聴覚メディアの発展と博物館)
		ICT社会の中の博物館(情報資源の双方向活用と役割、情報倫理、学校図書館研究機関の情報化等)
		情報教育の意義と重要性
	博物館情報メディアの理論	博物館活動の情報化(沿革、調査研究活動、展示教育活動等)
		資料のドキュメンテーションとデータベース化
		デジタルアーカイブの現状と課題
		映像理論、博物館メディアの役割と学習活用
	博物館における情報発信	情報管理と情報公開
		情報機器の活用(情報端末、新たなメディア経験等)
		インターネットの活用
	博物館と知的財産	知的財産権(著作権等)
		個人情報(肖像権等)
		権利処理の方法

教科書 1

- 1. 進化する博物館：博物館情報・メディア論へのいざない
- 2 それは洞窟から始まった：情報とメディアの歴史
- 3 博物館はメディア：博物館とメディアの発展史
- 4 人と人をつなぐメディアとしての博物館：情報とメディアの基礎理論
- 5 心は環境のなかに：博物館情報・メディアの心理と学習理論
- 6 新たなメディアへのいざない：博物館メディアリテラシー
- 7 モノが語る・メディアが語る：メディアを活用したさまざまな展示手法
- 8 世界とつなぐ博物館：情報収集から情報発信へ
- 9 のぞいてみよう収蔵庫：デジタルアーカイブスの構築と課題
- 10 メディアは身体：メディアによるユニバーサルの手法
- 11 それって誰のもの？：情報とメディアの法的な問題
- 12 つながる・つなげる博物館：地域メディアとの連携



出典：<http://amazon.co.jp>

教科書 2

- 第1回 博物館情報・メディア論を学ぶ
- 第2回 博物館における情報・メディアの意義
- 第3回 博物館の機能からみた、情報の蓄積と活用
- 第4回 メディアで学ぶ、メディアを学ぶ 情報教育の意義と重要性
- 第5回 研究部門における情報化 ―データベースの構築とその運用―
- 第6回 博物館標本のデジタル化の技法
- 第7回 デジタルミュージアム
- 第8回 デジタル・アーカイブの現状と課題
- 第9回 博物館における情報通信技術の活用
- 第10回 開かれた博物館にむけて インターネットを活用した情報発信
- 第11回 博物館と知的財産
- 第12回 博物館と市民をつなぐ情報メディア
- 第13回 展覧会と情報メディア
- 第14回 常設展示のイノベーション 博物館における情報メディアの活用
- 第15回 博物館情報・メディア論の未来



出典 : <http://amazon.co.jp>

研究の目的

- 本研究
 - 講義においてSNSを利用
 - 情報関連システムに慣れる
 - 実際に利用して体験する
 - 学習の振り返り
 - グループ学習（Web ページ分析・評価）
 - グループで意見調整 他者の意見も
 - 反転学習
 - インターネットを受講
 - 情報機材に慣れる
 - 科目理解のサポートになることを期待
 - 履修学生のほとんど
 - 「コンピュータは苦手」と回答する学生
 - 学習後効果があったか否か

手続き

- 対象

- 「博物館情報・メディア論」受講学生
 - 2012・2013年度入学学生（
 - 女性37名・平均年齢20歳

- 方法

- 大学専用SNS
- Open Pineにより構築
- 登録
- 講義のコミュニティーを開設
- 毎講義後

- 担当教員が作成した講義日のスレッド（SNSなどのトピック書き込み項目）に講義の感想や質問を投稿する



図 1 本学専用 SNS の表画面

回数	講義の概要	回数	講義の概要
1	博物館情報メディア論で学習すること	9	利用者を対象とした端末機器などのデジタルコンテンツの利用に関する内容。
2	博物館とメディアの発展	10	美術館・博物館のWebページについての改善案をグループでまとめるグループ学習
3	資料の収集・保管・展示・情報化など博物館の変化に関する内容。	11	発表
4	音声ガイドの種類や作り方、使用する意義などに関する内容。	12	GoogleストリートビューやSNSなどを活用した宣伝広告の方法に関する内容。
5	実物展示や体験型展示など展示手法に関する内容。	13	美術館のデータベースや博物館内にある専門書図書館など利用者に配慮した工夫に関する内容(反転学習あり)。
6	データベース化などの資料の管理方法に関する内容。	14	著作権に関する内容。
7	3Dプリンタなどの情報機器の活用例に関する内容。	15	3Dシアターなど映像展示を効果的に活用することに関する内容。 まとめ
8	アバターやレプリカを博物館展示に活かすための工夫に関する内容。		
Web評価課題	中四国の博物館・美術館・植物公園・動物園のWebを評価してレポート	美術館課題	広島市の美術館で開催されている企画展を見学して、情報メディアを利用した展示についてまとめてレポート

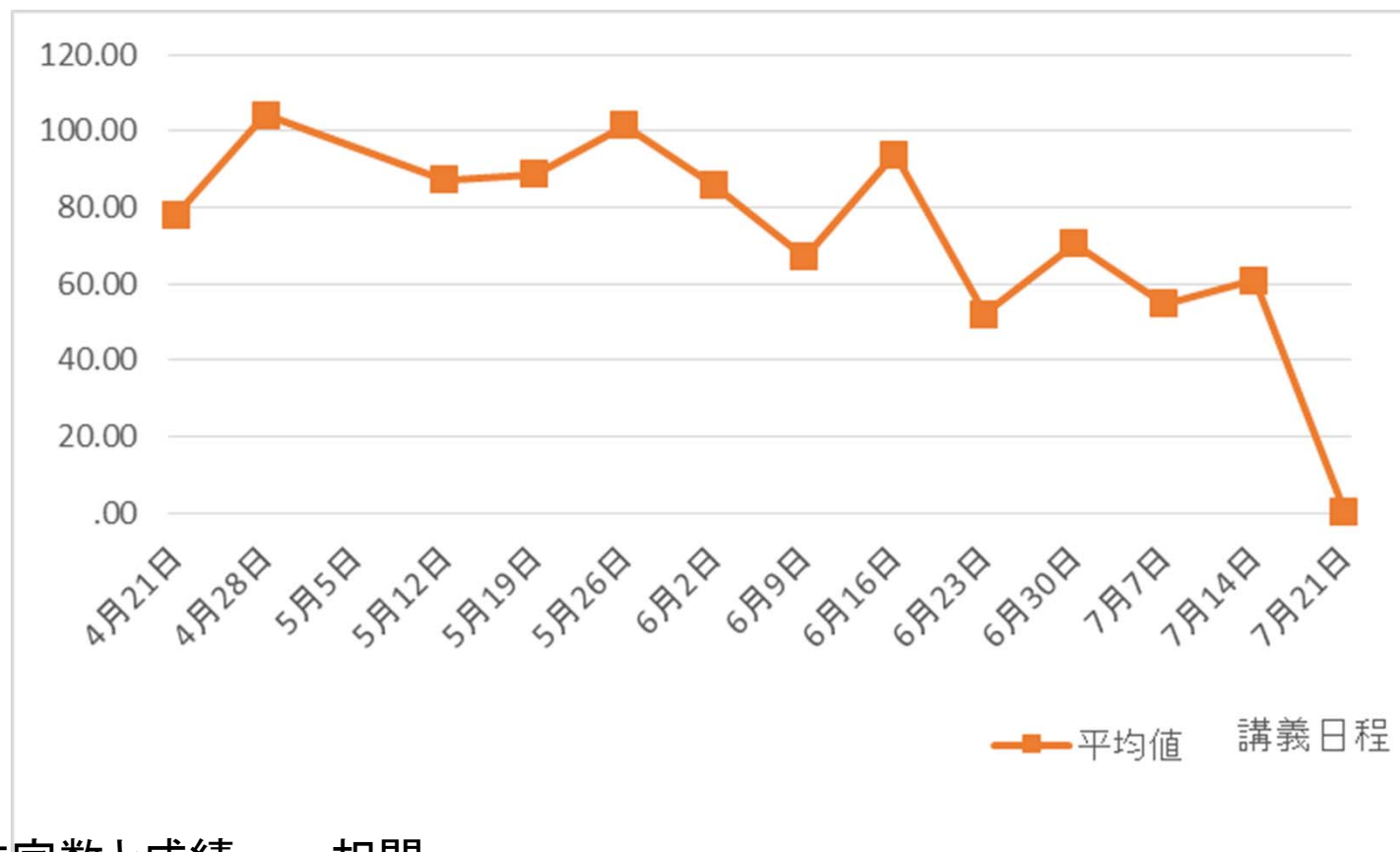
Web評価課題

- 中国四国・九州地区の博物館のWebページ評価
 - 選択した博物館のWebページの評価と意見を提出
- Webでの情報発信について
 - 展示物の紹介・イベントの紹介
 - データベース
 - 常設展示の紹介
 - 講座の開催
 - 地域への貢献・教育への貢献
 - 研究発表
 - その他
- ~~□ 東京国立博物館などと比較しての意見と感想~~

企画展示課題

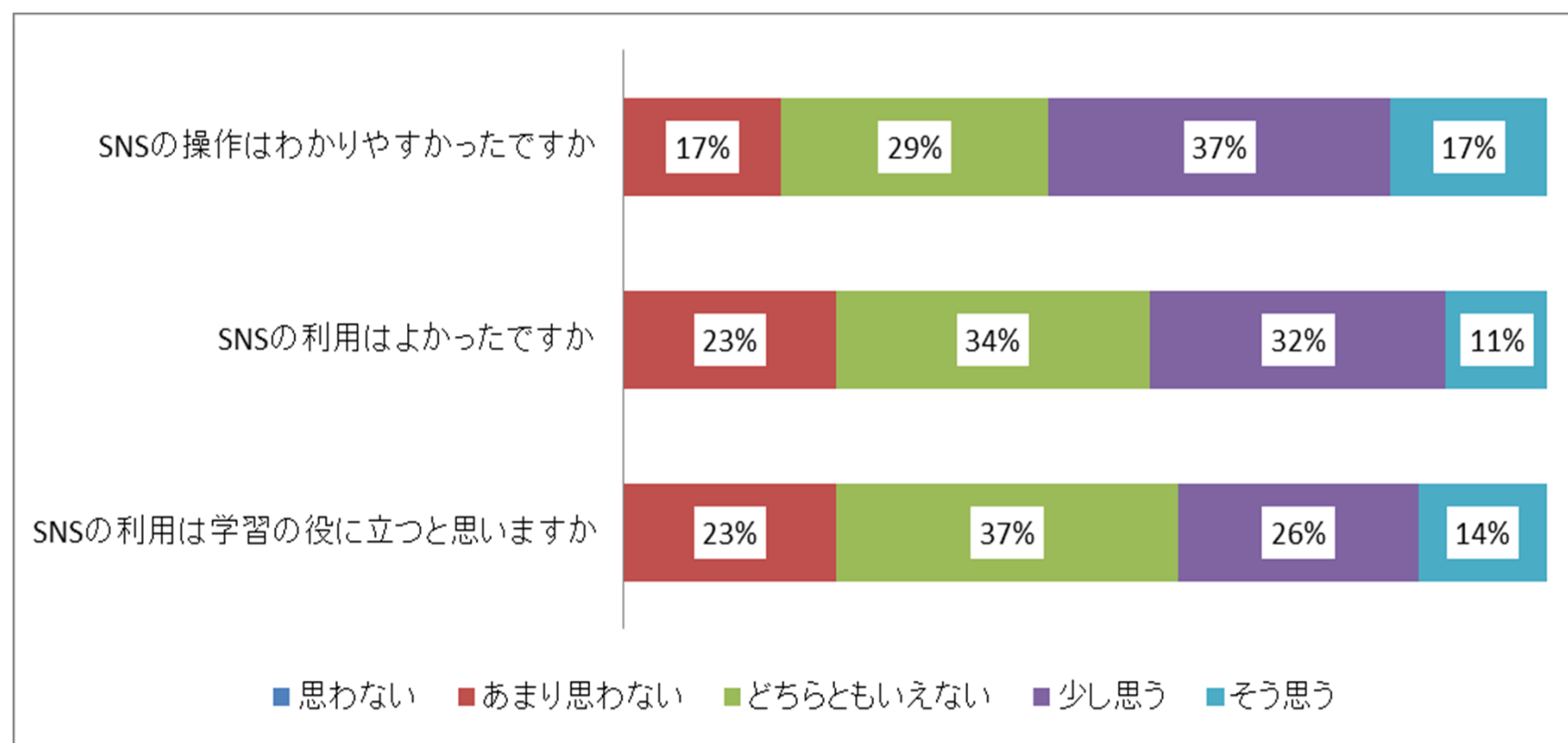
- 広島市内の美術館
 - 広島県立美術館
 - ひろしま美術館
 - 広島市現代美術館
 - 期間中の企画展示を鑑賞・見学
 - 「実物資料」
 - 「視聴覚メディア」
 - 「聴覚メディア」
 - 「複合メディア」
 - 展示に工夫があるか

SNS平均書き込み文字数

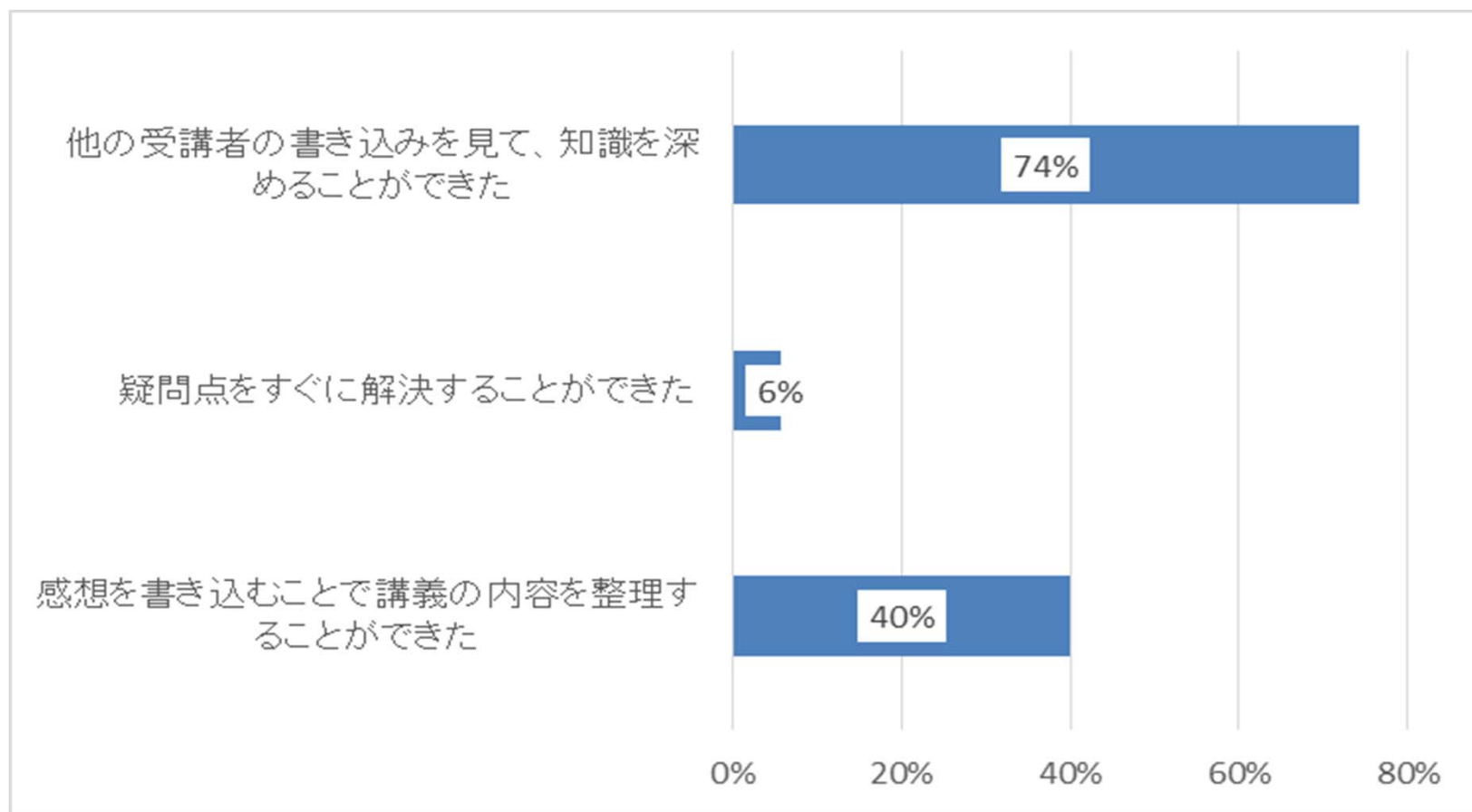


平均文字数と成績 相関
.428 1%水準で有意

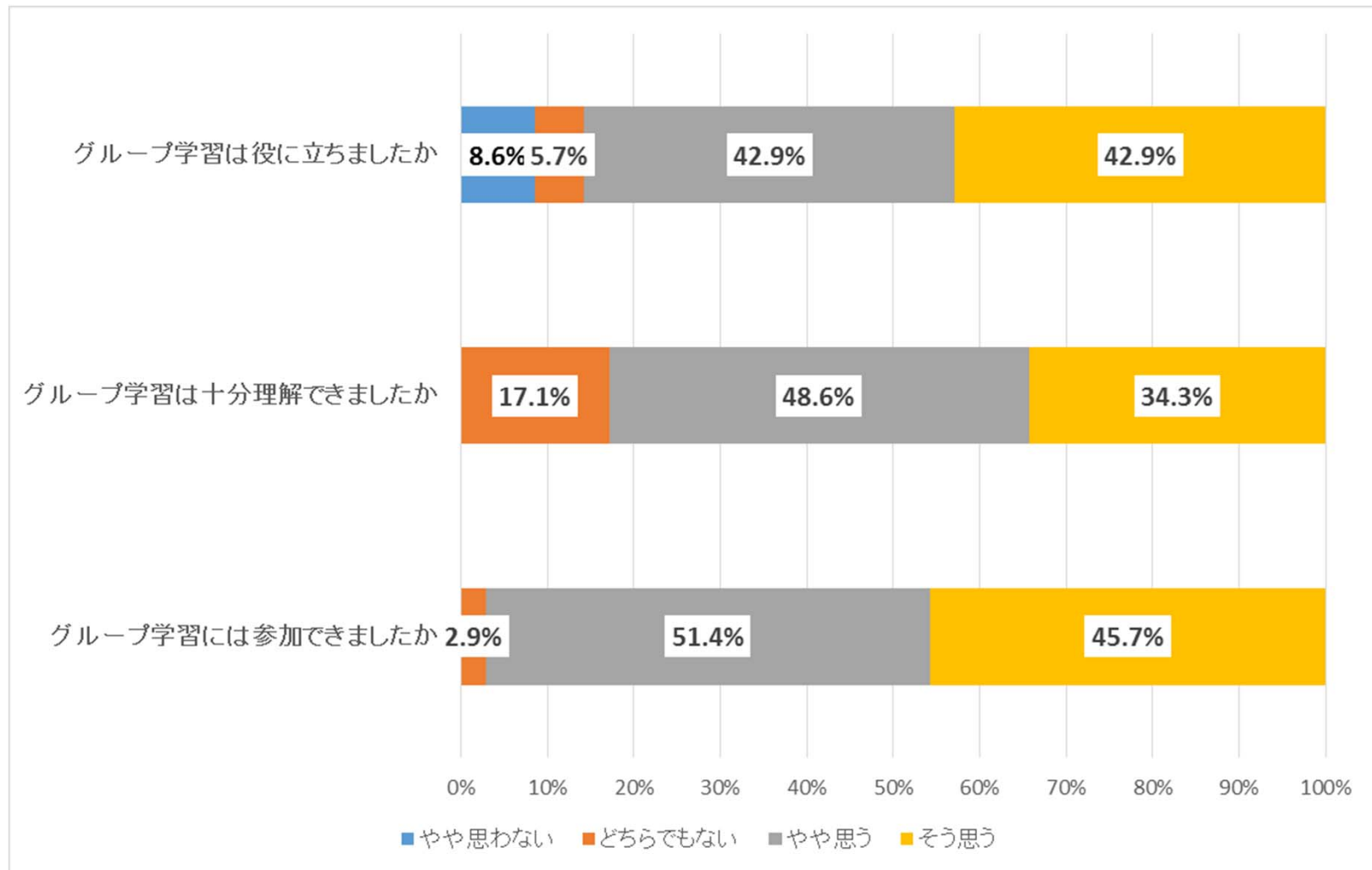
SNSについてアンケート結果



SNSの効果



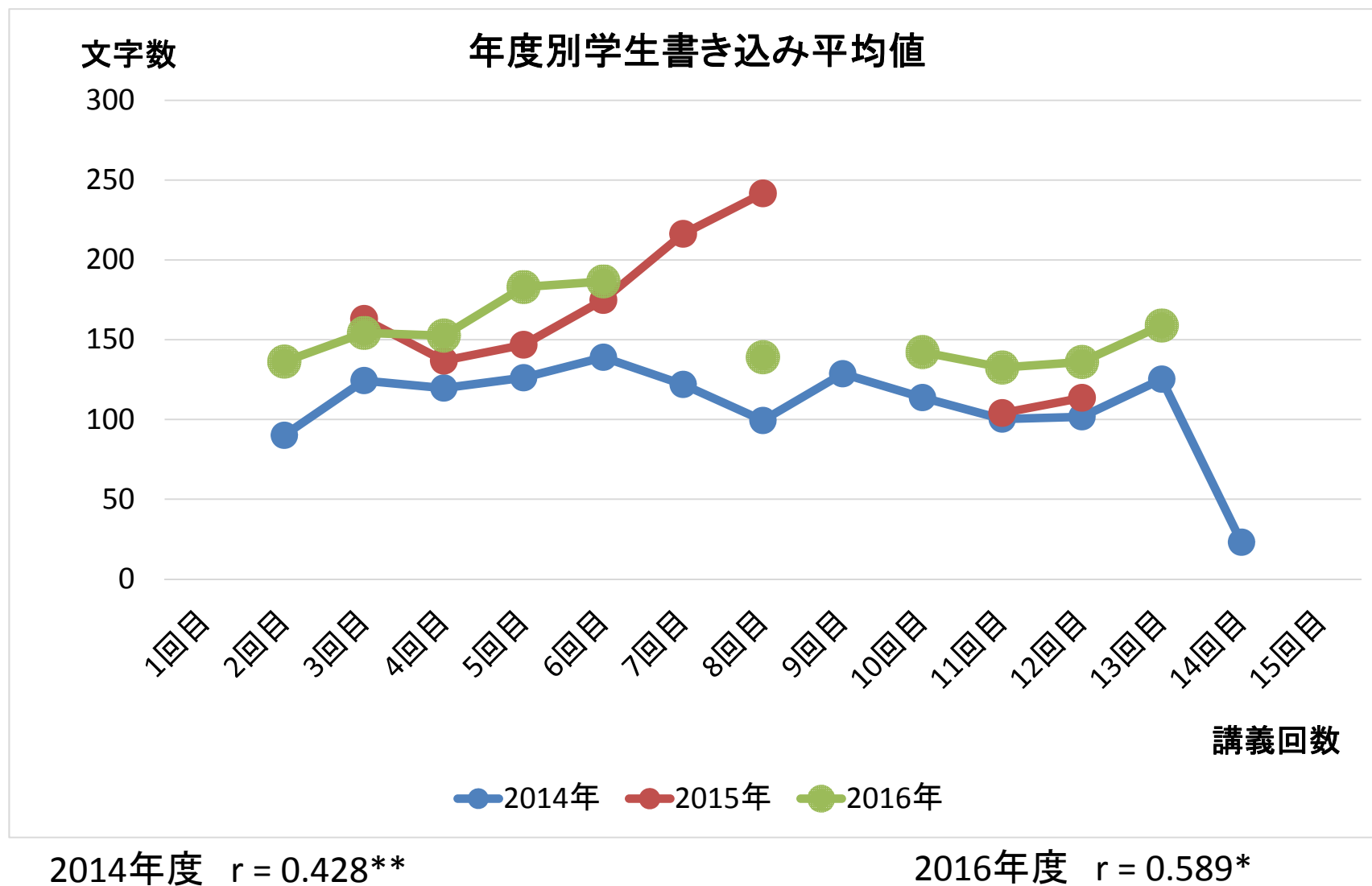
グループ学習について



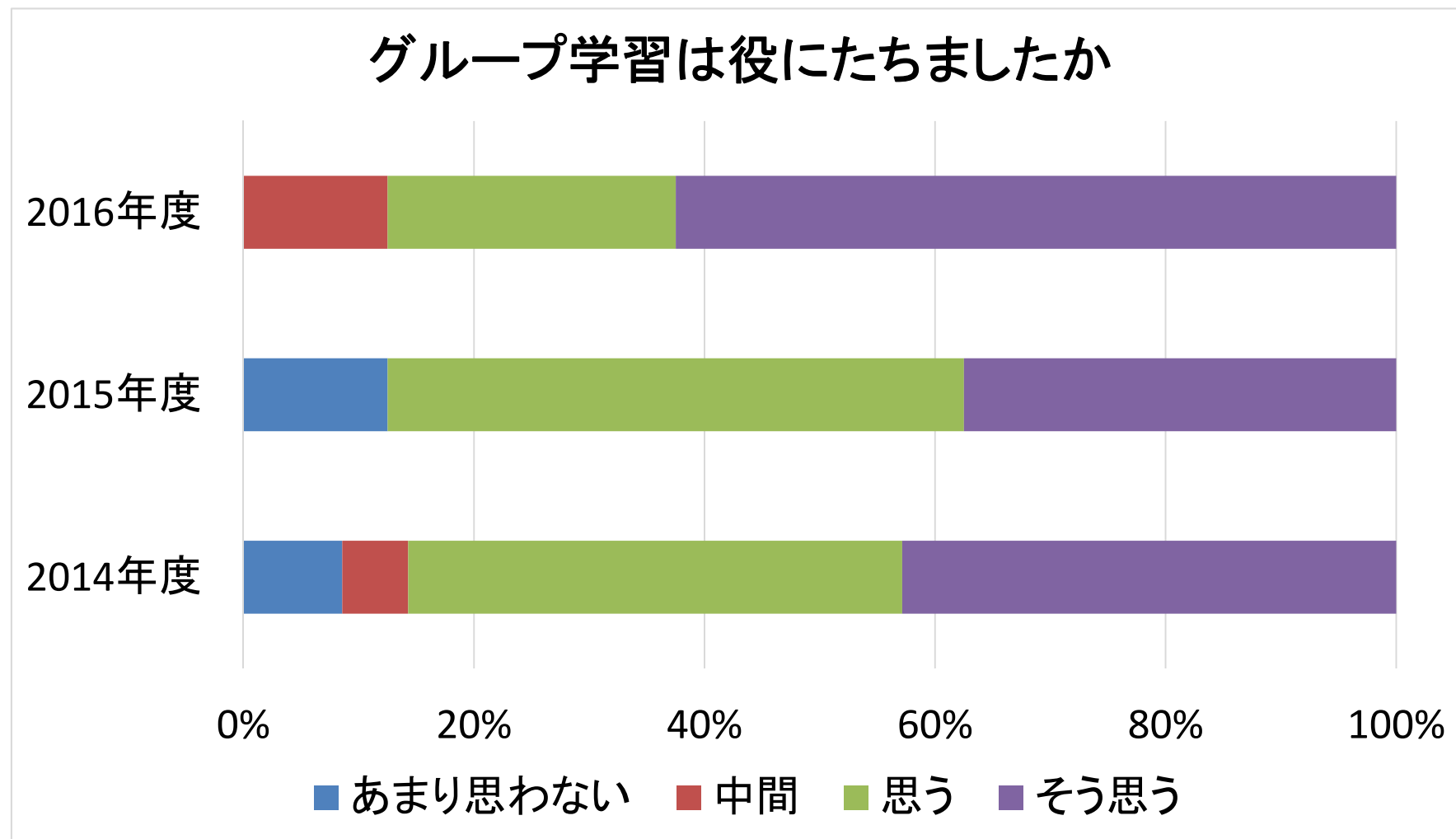
自由記述

- SNSの利用について
 - 他の受講者の意見・感想を見ることができた
 - 自分と違う意見を見つけることができた
 - SNSは知識共有をする場として適しているのではないか
 - 書き込みを行うことで講義の内容を思い出すことができた
 - SNSを利用しないのでどのように利用すればよいかわからなかった
- グループ学習について
 - とても有意義だった
 - 他人の意見も聞くことで解決策を見つけることができた
 - 時間がもっと欲しかった

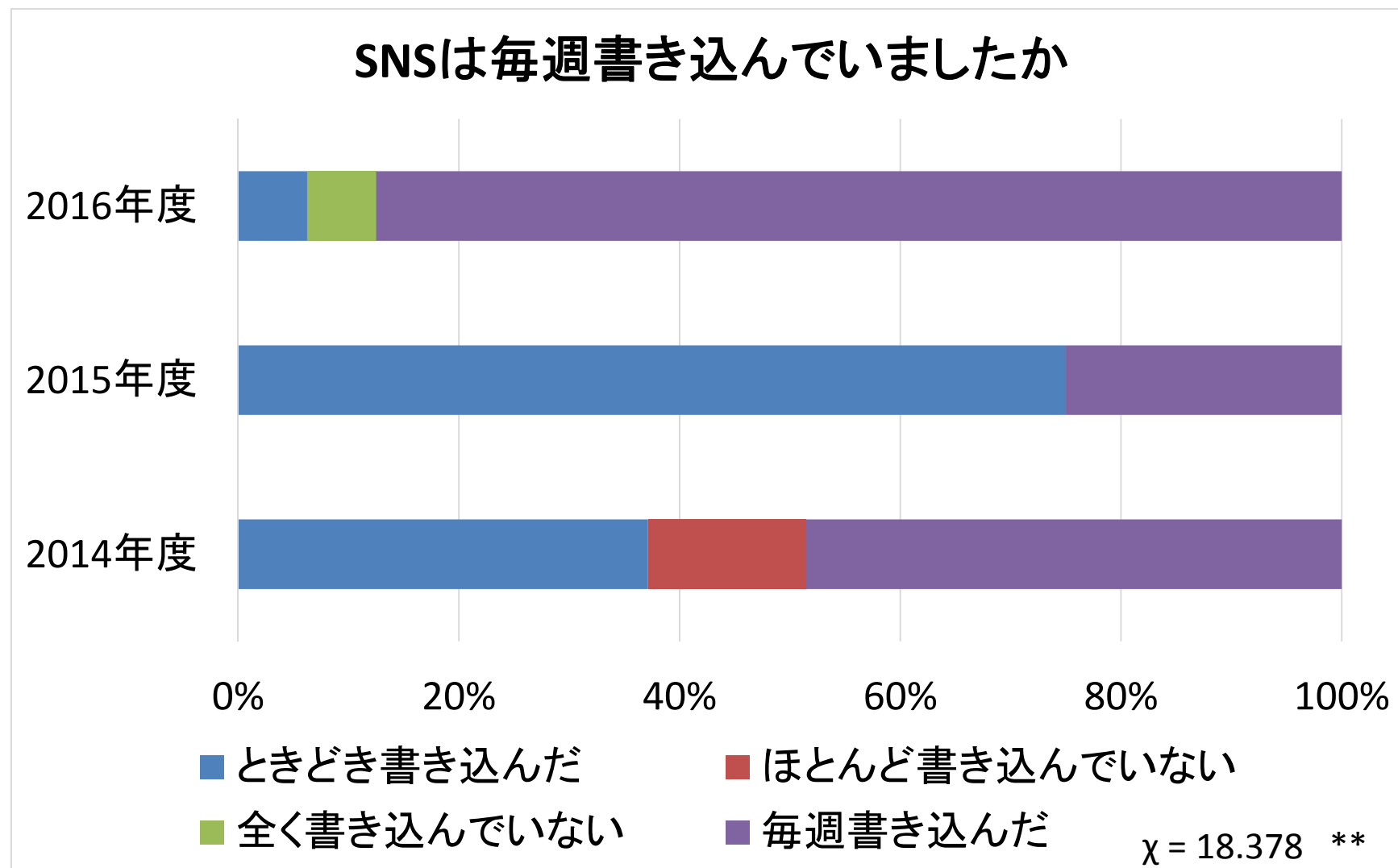
3年間継続実施



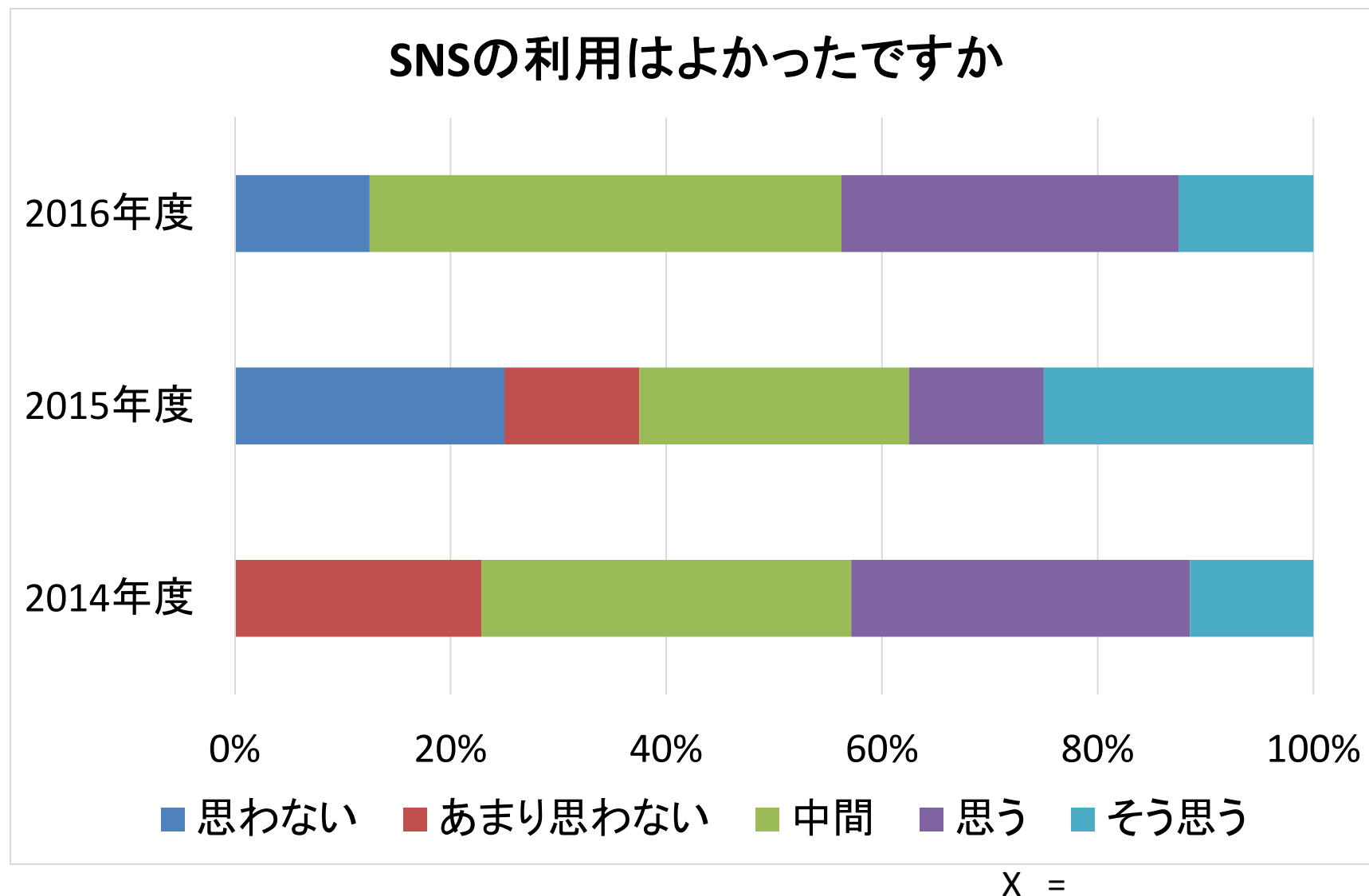
年度別アンケート集計結果1



年度別アンケート集計結果2

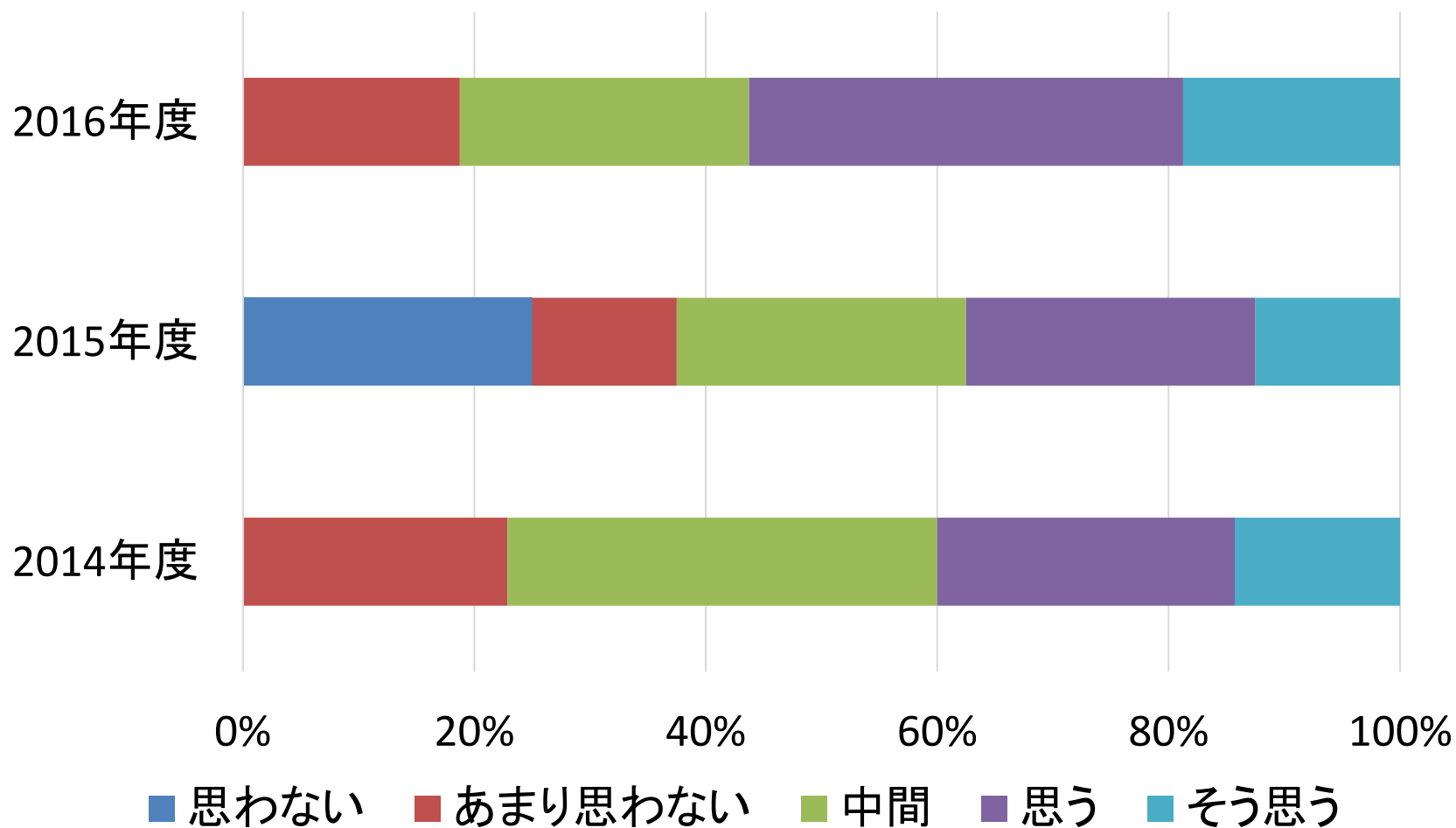


年度別アンケート集計結果3



年度別アンケート集計結果4

SNSの利用は学習の役に立つと思いますか



X = 14.538 *

考察と今後の問題点

- SNSを利用することで
 - 理解度が上がる
 - 積極的に利用して疑問点を解決するなどの利用方法が有効
- SNSを積極的に活用する
 - 受講者の理解度を高める
 - 講義に対するモチベーションを維持する
 - 有効な学習ツール
- グループ学習
 - 時間管理をみなおし必要
 - 評価(現在は相互評価)の工夫
- 仕組み必要